第5章

通信とインターネット機能を使いこなす

通信とインターネット機能について

通信モードには、ダイレクト送信やメール送信、FAX送信だけでなく、メールの受信やインターネットのWeb（ホームページ）を見る機能など、さまざまな機能が用意されています。ここでは、これらの機能を活用する方法について説明します。

機能の種類

通信とインターネット機能には、次の5種類があります。下の表を参考に、目的にあった機能を活用してください。それぞれの機能の詳細については、後の項で説明します。

機能	インターネット			通信	
	メール	Web	FTPアップロード	ダイレクト送信	FAX送信
機能の種類	送信/受信	Webを見る	送信	送信	送信
送信できるファイル	静止画ファイル 文字ファイル 音声ファイル 動画ファイル 手書きメモファイル 関連ファイル※1	–	HTMLファイル※2 ＋ 埋め込まれた 画像ファイル	静止画ファイル 文字ファイル 音声ファイル 動画ファイル 手書きメモファイル 関連ファイル※1	文字ファイル

※1 テキストメモ (.TXT)、手書きメモ (.TIF)、アフレコ (.WAV)ファイルのことです。
※2 本カメラで作成したHTMLファイルです。

重要

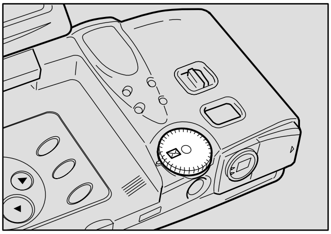
・各機能を利用する前に、通信設定が行われていること、カメラに通信機器が正しく接続されていることを確認してください。
→P.19「通信の設定をする」P.55「通信機器を接続する」

メールを使う

ここでは、メールの送信や受信の機能について説明します。

メールメニューを表示する

❶ モードダイヤルを［✉］（通信）に合わせます。



通信メニューが表示されます。



❷［メール］を選びます。

メールメニューが表示されます。
このメニューで各機能を選び、メールの送信や受信を行います。詳しくは、次の項から説明していきます。



・メールを作成する→ P.90
・メールを送信する→ P.91
・受信メールを確認する→ P.92
・メールを返信 / 転送する→ P.95
・送信待ちメールを再送信する→ P.96
・作成途中のメールを送信する→ P.97

メールを作成する

新しくメールを作成します。

❶ **メールメニューで［送信］を選びます。**
送信設定の画面が表示されます。

❷ **［アドレス帳］を選び、宛先を設定します。**



参照 ・P.76「アドレス帳を使って宛先を設定する」

❸ **［タイトル］の を選び、ソフトキーボードを使って入力します。**

❹ **［本文］の を選び、ソフトキーボードを使って入力します。**

参照 ・カメラ編「ソフトキーボードを使う」

補足 ・定型文を本文に指定したり、メールにファイルを添付することもできます。→P.77「定型文を指定する」→P.90「添付ファイルを選択する」
・作成中にモードダイヤルを切り替えると、メールはドラフトとして自動保存されます。自動保存メールは、後で編集したり送信することができます。→P.97「作成途中のメールを送信する」

これでメールが作成できました。

■添付ファイルを選択する

メールに画像ファイルなどを添付して送るときに、送信するファイルを選択します。



❶ **送信設定の画面で［ファイル選択］を選びます。**

❷ **CARD/IN キーでファイルのある記録元（CF CARD・PC CARD・IN）を選びます。**
［場所］に指定した記録元が表示されます。



❸ 添付するファイルを選びます。

選択したファイルは、［添付ファイル］に表示されます。

●添付ファイルを追加する

［フォルダ］の を選び、リストから選択するファイルが保存されているフォルダーを選びます。［ファイル］から追加したいファイルを選んだ後、［追加］を選びます。この手順を繰り返すと、複数のファイルを選択できます。

●添付ファイルを削除する

［添付ファイル］から削除したいファイルを選んだ後、［削除］を選びます。

補足 ・［ファイル］でファイルを選ぶと、ファイルのサムネイルが右側に表示されます。サムネイルを確認しながら追加してください。

参照 ・P.68「送信できる画像枚数の目安」

❹［OK］を選びます。

設定が完了し、もとの画面に戻ります。

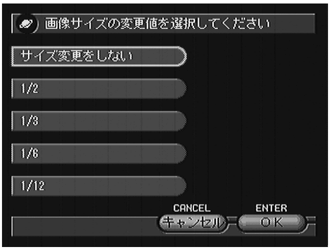
メールを送信する

作成したメールを送信します。送信する前に、もう一度、宛先や本文に間違いがないか確認してください。

❶ 送信設定の画面で、［送信］を選びます。

補足 ・作成途中のメールを一時的に保存する場合は、［保存］を選びます。メールは送信されずにドラフトとして保存されます。ドラフトは後で編集したり送信することができます。→P.97「作成途中のメールを送信する」

❷ 画像サイズを選びます。



参照 ・P.46「画像サイズを設定する」

補足 ・この画面は、静止画ファイル（.JPG）を添付したときだけ表示されます。

重要
・ファイルのサイズが処理用のメモリーサイズを超えると、エラーメッセージが表示されます。このような場合は、メッセージにしたがって処理を行ってください。→P.126「エラーメッセージが表示されたときは」

❸ **必要に応じて設定を変更し、[接続] を選びます。**



参照 ・P.78「画像を送信する」

インターネットへの接続が開始され、メールが送信されます。



補足 ・受信メールがある場合は、メールが自動的に受信されます。→P.92「受信メールを確認する」

メールの送受信が終了すると、接続は自動的に切断され、メールメニューに戻ります。

補足 ・送信済みのメールは送信簿に保存されます。このメールをもう一度送信することもできます。→ P.96「送信待ちメールを再送信する」
・送信できなかったメールは送信簿に保存され、送信待ちメールになります。このメールはあとで送信することができます。
→ P.96「送信待ちメールを再送信する」

受信メールを確認する（受信簿）

メールを受信したり、受信メールの内容を確認する方法について説明します。

■受信済みのメールを確認する

通常、メールの送信時にメールの受信も自動的に行われます。ここでは、すでに受信したメールの内容を確認します。

❶ **メールメニューで [受信簿] を選びます。**

❷ **受信メール一覧で、受信したメールを確認します。**



●まだ読んでいないメールの場合（未読メール）
赤色で表示されます。

●すでに読み終わったメールの場合
黒色で表示されます。

●メールにファイルが添付されている場合

マークが表示されます。

補足　・［受信リスト］から削除したいメールを選び［削除］を選ぶと、メールを削除できます。

❸ 受信リストから確認したいメールを選び、［表示］を選びます。



メールの内容が表示されます。本文右側の や を使って、内容を確認します。

補足　・HTMLファイルを受信した場合には、本文の一部が添付ファイルとして受信されることがあります。
・［宛先登録］を選ぶと、送信元のアドレスが自動的にアドレス帳に登録されます。
・［削除］を選ぶと、表示中のメールを削除できます。

■メールを受信してから確認する

メールを受信し、受信後にメールを確認します。

補足　・「受信メール取得最大サイズ」で設定したサイズ以上のメールは受信できません。→ P.34「メール環境を設定する」

❶ メールメニューで［受信簿］を選びます。



❷ 受信メール一覧で［受信確認］を選びます。

❸ 接続内容を確認し、［接続］を選びます。



参照　・P.78「画像を送信する」

メールが受信されます。受信が終了すると、受信メール一覧に戻ります。

受信したメールの確認のしかたは、「受信済みのメールを確認する」の手順❷・❸（→ P.92）と同じです。

■添付ファイルを保存する

受信メールに画像などのファイルが添付されている場合は、カメラのメディア（内蔵メモリーやCFカード、PCカード）に保存します。保存したファイルは、再生モードに切り替えて確認することができます。

❶ 受信メールを表示します。

メールの内容が表示されます。



参照 ・P.92「受信済みのメールを確認する」

❷ [保存] を選びます。

❸ [保存先（CF CARD・PC CARD・IN）を選びます。



参照 ・カメラ編「 （ラジオボタン）の使い方」

❹ [OK] を選びます。

添付ファイルが保存され、手順❶の画面に戻ります。

補足
- ファイルは、「リネーム後ファイル名」に表示されているファイル名に自動的に変更されます（例：RIMG0001.JPG）。このファイルは、「保存先フォルダ」に表示されているフォルダーに保存されます（例：103DOWNL）。
- 関連ファイルがある場合は、それぞれ別のファイルとして保存されます。
- 再生できるファイルについては、カメラ編「カメラで再生できるデータについて」をご覧ください。

■受信メールからホームページにアクセスする

受信したメールの中にホームページのアドレスなどを示すURLの文字列がある場合、そのURLをペンでタッチすると、自動的にWebブラウザが起動し、そのアドレスにアクセスします。この機能をクリッカブルURLといいます。

参照 ・P.110「URLについて」

❶ **受信メールを表示します。**
メールの内容が表示されます。

参照 ・P.92「受信済みのメールを確認する」



❷ **本文中の URL をペンでタッチします。**
クリッカブルURLは、本文の色とは異なる色で表示されています。

❸ **［OK］を選びます。**
［OK］を選ぶと、メールの機能から抜け、Webを見る機能に変わります。

参照 ・P.105「Webを見る」



［キャンセル］を選ぶと、手順❶の画面に戻ります。

メールを返信 / 転送する

受信したメールに対して、返信や転送をする機能について説明します。

❶ **受信メールを表示します。**
メールの内容が表示されます。

参照 ・P.92「受信メールを確認する」



❷ **［返信］を選びます。**
返信のサブメニューが表示されます。

❸ **返信方法を選びます。**



●［相手先に返信］を選んだとき
送信してきた人ひとりだけにメールが返信されます。

●［全員に返信］を選んだとき
送信してきた人とcc:で指定されてきた人全員にメールが返信されます。

●［転送］を選んだとき
指定した送信先にメールが転送されます。

コラム **返信と転送について**
返信は、送信してきた人に返事を書くときに使います。一般的に、受信メールを流用してコメントを加えた形で送ります。
転送は、送信してきた人以外の人に、そのままの内容を送るときに使います。受信メールにコメントを加えることもできます。



新しいメールが表示されます。[本文]には、もとのメールに引用符「＞」がついた文章が表示されます。返信の場合は、送信先のアドレスが自動的に加えられます。

❹ 必要に応じて、タイトルや本文を変更します。

❺［送信］を選び、メールを送信します。

参照 ・P.91「メールを送信する」

送信待ちメールを再送信する（送信簿）

送信待ちメールやすでに送信済みのメールは、送信簿に保存されます。ここでは、送信待ちメールを送信する方法について説明します。

❶ メールメニューで［送信簿］を選びます。



送信メール一覧が表示されます。

●送信待ちメールの場合
赤色で表示されます。

●すでに送信済みのメールの場合
黒色で表示されます。

●メールにファイルが添付されている場合
マークが表示されます。

補足 ・［送信リスト］から削除したいメールを選び［削除］を選ぶと、メールを削除できます。

❷ **［送信リスト］から送信したいメールを選び、［表示］を選びます。**
メールの内容が表示されます。



❸ **メールの内容を確認し、［再送信］を選びます。**
再送信の画面に変わります。

補足 ・［削除］を選ぶと、表示中のメールを削除できます。



❹ **必要に応じて、タイトルや本文を変更します。**

❺ **［送信］を選び、メールを送信します。**

参照 ・P.91「メールを送信する」

補足 ・おなじような手順で、すでに送信したメールを再送信することもできます。

作成途中のメールを送信する（ドラフト）

作成途中のメールは、ドラフトに保存されます。ここでは、ドラフトから作成途中のメールを表示し、送信する方法について説明します。

❶ **メールメニューで［ドラフト］を選びます。**
ドラフト一覧が表示されます。



❷ **「ドラフトリスト」から送信したいメールを選び、［表示］を選びます。**
メールの内容が表示されます。

補足 ・［ドラフトリスト］から削除したいメールを選び［削除］を選ぶと、メールを削除できます。

❸ **メールの内容を確認し、[送信] を選びます。**

送信の画面に変わります。



補足 ・［削除］を選ぶと、表示中のメールを削除できます。

❹ **必要に応じて、タイトルや本文を変更します。**



❺ **再度、[送信] を選び、メールを送信します。**

参照 ・P.91「メールを送信する」

メールが送信されると、ドラフトからメールは削除され、送信簿に保存されます。

ダイレクト送信を使う

ここでは、ダイレクト送信を使って、サーバーにファイルを送信する機能について説明します。

重要
・ダイレクト送信を使う前に、あらかじめ受信側のコンピューターで、いくつかの設定を行い、待機状態にしておく必要があります。→パソコンとの連携編　第7章「ダイレクト送信の受信側を設定する」

送信の設定をする

サーバーにファイルを送信します。▶（再生モード）のダイレクト送信と異なる点は、送信時にファイルを選択する点です。

❶ モードダイヤルを［✉］に合わせます。
通信メニューが表示されます。

❷［ダイレクト送信］を選びます。



❸［ダイヤル一覧］を選び、ダイヤルアップ接続先を選びます。

参照 ・P.45「ダイヤルアップ接続先を選択する」



❹ 画面下の ▼ を選び、次画面を表示します。

❺ 送信するファイルを選びます。
・送信するファイルを選択する→ P.100

「関連ファイルも送信」の □ を ☑ にすると、画像ファイルに加えられたテキストメモやアフレコ（音声メモ）も一緒に送信できます。



参照 ・カメラ編「ファイルにメモや音声を加える」

■送信するファイルを選択する

ダイレクト送信で送信するファイルを選択します。

❶ 送信設定の画面で、［ファイル選択］を選びます。



❷ CARD/IN キーで記録元（CF CARD・PC CARD・IN）を選びます。

［場所］に指定した記録元が表示されます。



❸ 送信するファイルを選びます。

●送信ファイルを追加する

［フォルダ］の を選び、リストから選択するファイルが保存されているフォルダーを選びます。［ファイル］から追加したいファイルを選んだ後、［追加］を選びます。この手順を繰り返すと、複数のファイルを選択できます。

●送信ファイルを削除する

［送信ファイル］から削除したいファイルを選んだ後、［削除］を選びます。

補足 ・［ファイル］でファイルを選ぶと、ファイルのサムネイルが右側に表示されます。サムネイルを確認しながら追加してください。

❹ ［OK］を選びます。

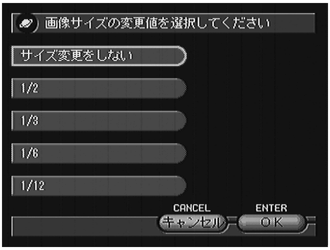
設定が完了し、もとの画面に戻ります。

ファイルを送信する

接続時の条件を確認し、ファイルを送信します。

❶［送信］を選びます。

❷ 画像サイズを選びます。



参照 ・P.46「画像サイズを設定する」

補足 ・この画面は、静止画ファイル（.JPG）を選択したときだけ表示されます。



接続が開始され、ファイルが送信されます。

送信が終了すると、接続は自動的に切断され、通信メニューに戻ります。

参照 ・P.74「画像を送信する」

FAX送信を使う

ここでは、文字モードで撮影した画像をFAXに送信する機能について説明します。

送信の設定をする

FAXに画像を送信します。▶（再生モード）のFAX送信と異なる点は、送信時にファイルを選択する点です。

❶ モードダイヤルを［✉］に合わせます。
通信メニューが表示されます。



❷［FAX］を選びます。
FAXメニューが表示されます。

❸［送信］を選びます。
送信設定の画面が表示されます。



❹ 各項目の設定をします。

・対象となる送信ファイルを選択する→ P.103

以下の設定は、再生モードのFAX送信の設定と同じです。

・アドレス帳を使って宛先を設定する→ P.81
・送信密度を設定する→ P.81
・詳細を設定する→ P.82
・カバーレターを作成する→ P.83





［詳細設定］を選んだときに表示される画面

■対象となる送信ファイルを選択する

FAXで送信する画像ファイルを選択します。

❶ **送信設定の画面で、[対象指定] を選びます。**



❷ **CARD/IN キーで記録元（CF CARD・PC CARD・IN）を選びます。**

［場所］に指定した記録元が表示されます。



❸ **送信の対象となるファイルを選びます。**

［フォルダ］の ▼ を選び、リストから選択するファイルが保存されているフォルダーを選びます。［ファイル］から選択したいファイルを選んだ後、［選択］を選びます。

〈補足〉・［ファイル］には、文字モードで撮影した画像のみが表示されます。

❹ **［OK］を選びます。**

設定が完了し、もとの画面に戻ります。

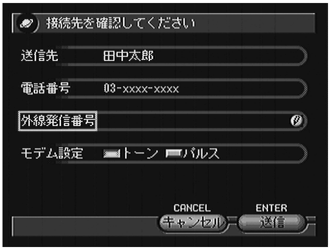
ファイルを送信する

接続時の条件を確認し、ファイルを送信します。

❶ **［OK］を選びます。**



❷ **必要に応じて設定を変更し、[送信] を選びます。**



参照 ・P.84「画像を送信する」

接続が開始され、ファイルが送信されます。



送信が終了すると、接続は自動的に切断され、送信設定の画面（P.103 手順❶）に戻ります。

送信結果リストを確認する

送信した記録を確認する方法を説明します。

❶ **FAX メニューで、[送信一覧] を選びます。**
FAX 送信一覧が表示されます。



❷ **[送信リスト] 右側の ・ を選んで、リストを確認します。**
リストには、日付、送信先や FAX 番号、送信枚数、送信結果が表示されます。



❸ **確認が終了したら、[終了] を選びます。**
FAX メニューに戻ります。

❹ **再度、[終了] を選びます。**
通信メニューに戻ります。

Webを見る

インターネット上に開かれているWeb（ホームページ）を見る機能について説明します。

Webブラウザ画面を開く

インターネットに接続し、ホームページを見るときに使う、Webブラウザ画面を開きます。

❶ モードダイヤルを［✉］に合わせます。
通信メニューが表示されます。



❷［Web］を選びます。

❸ 必要に応じて設定を変更し、［接続］を選びます。



●ダイヤルアップ先
ダイヤルアップ接続先を変更する場合は、［ダイヤル一覧］を選びます。

参照 ・P.45「ダイヤルアップ接続先を選択する」

●外線発信番号
［外線発信番号を］の を選び、ソフトキーボードを使って入力します。

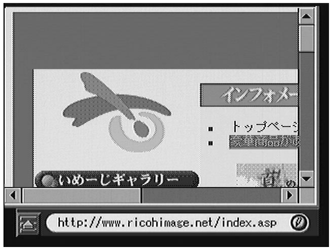
●モデム設定
「トーン」または「パルス」のいずれかの を選びます。

参照 ・カメラ編「ソフトキーボードを使う」「 （ラジオボタン）の使い方」
・P.24, 25「ダイヤルアップ接続先を設定する/外線発信番号、ダイヤル方式」



インターネットへの接続が開始されます。

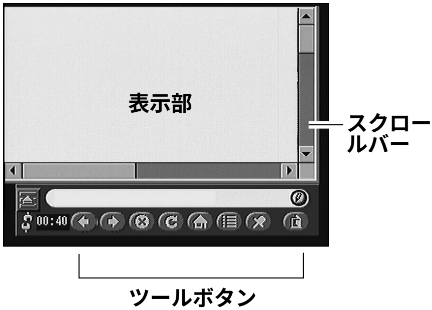
接続されると、Web ブラウザ画面が表示されます。



補足 ・Web 設定で、ホームページのアドレスが指定されている場合は、指定されているホームページが表示されます。→ P.50「Web 環境を設定する」

Web ブラウザ画面での操作方法

Web ブラウザ画面では、ペンを使って操作します。



●ツールボタンをタッチする

ツールボタンをペンでタッチして、機能を選択します。

●表示部をタッチする

表示部に表示されたホームページ上のリンク（→ P.110）をペンでタッチします。

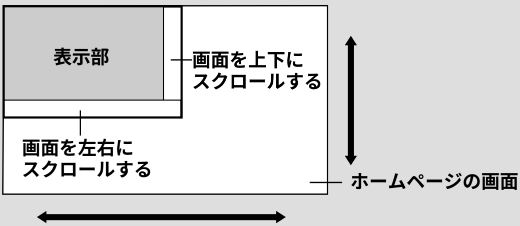
●スクロールバーをタッチする

スクロールバーをペンでタッチして、画面表示を左右、上下に変更します。

コラム

画面スクロールについて

表示部には、ホームページの一部分が表示されます。表示されていない部分を見る場合は、画面右側と下側のスクロールバーを使って、画面の表示を変更してください。



ツールボタンの使い方

Webブラウザ画面には、ホームページを見るときに使うアドレス入力部やツールボタンが用意されています。ここでは、このツールボタンの役割を説明します。詳しい使い方については、後の項で説明します。

■アドレス入力部とツールボタン



（アドレス入力部）

ホームページのアドレスを入力します。

（ツール表示）　：ツールを表示します。
（ツール非表示）：ツールを隠します。

（戻る）　：直前に表示したページに戻ります。
（進む）　：表示しているページの次のページに進みます。
（中止）　：ページの表示（データの読み込み）を中止します。読み込みを中止するだけで、接続を切断するわけではありません。
（更新）　：表示しているページのデータを再度読み込んで、最新の情報に更新します。
（ホーム）：インターネットに接続したときに一番はじめに表示されるページ（ホーム）を表示します。
（履歴）　：過去に表示したホームページの履歴を表示します。
（マーク）：現在見ているページのアドレスを登録します（おきにいりのページを登録）。
（終了）　：Web ブラウザが終了し、通信メニューに戻ります。

■通信状態を示すアイコンとマーク

Webブラウザ画面左下の と液晶パネル上の マークは、通信状態によって表示が変わります。

● Web ブラウザ画面

（通信中）　インターネットに接続されている状態を示します。
（通信切断）インターネットの接続が切断されている状態を示します。

●液晶パネル

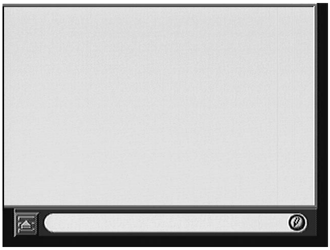
インターネットに接続されているときに、マークが点滅します。
インターネットの接続が切断されると、マークが消えます。

ツールを表示する / 隠す

Webブラウザ画面を開いた直後では、ツールは表示されていません。ここではツールを表示したり、隠したりする方法について説明します。

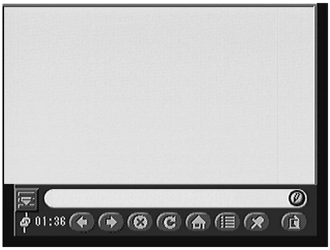
❶ ペンで を選びます。

画面下部にツールが表示され、 は に変わります。



❷ ペンで を選びます。

ツールが隠れます。



補足
・表示部をペンでタッチすると、ツールは自動的に隠れます。
・ツールを隠すと、表示部の領域が広くなり、ホームページが見やすくなります。

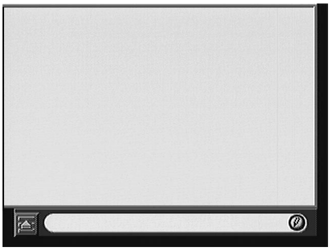
ホームページを見る

ホームページのアドレス（URLともいう）を入力して、ホームページを表示します。

■ホームページを表示する

❶ アドレス入力部の を選びます。

英数字入力用のソフトキーボードが表示されます。入力部には自動的に「http://」が表示されます。



❷「http://」に続けてアドレスを入力し、［入力］を選びます。

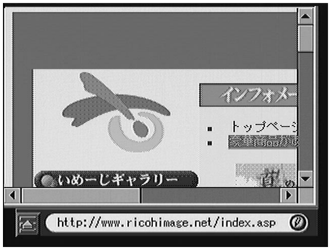
（例：www.ricohimage.net/index.asp）



参照 ・カメラ編「ソフトキーボードを使う」

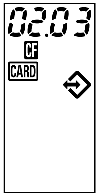
重要
・アドレスは、大文字小文字の区別をして入力してください。

指定したホームページが表示されます。

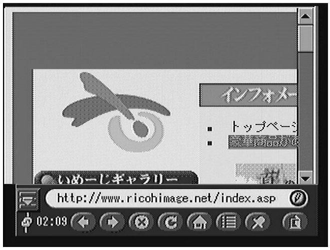


補足 ・画面右側または下側にあるスクロールバーをペンでタッチすると、表示されていない部分を表示できます。

通信中は、液晶パネルの マークが点滅し続けます。また、接続時間も表示されます。



補足 ・このとき、ツールボタンの左にある も (通信中) に変わり、の右には接続時間が表示されます。



❸ ペンでリンクをタッチします。

リンクが設定されているところは、文字の色が違ったり、下線が引かれています。

あとは、ホームページを自由にご覧ください。

補足 ・(中止)を選ぶと、ページの表示(データの読み込み)を中止できます。
・(更新) を選ぶと、表示しているページのデータが再度読み込まれ、最新の情報に更新されます。

コラム

URL について

URL（ユーアールエル）は Uniform Resource Locator の略で、ホームページの所在を示す住所のようなものです。

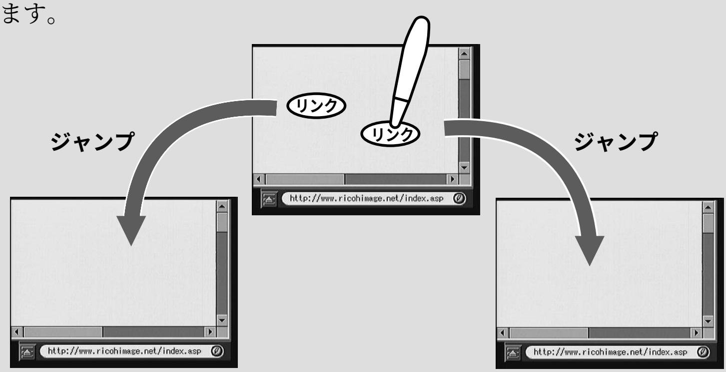
例：http://www.testnet.ne.jp/index.html

プロトコル名　サブドメイン名　ドメイン名　ファイル名

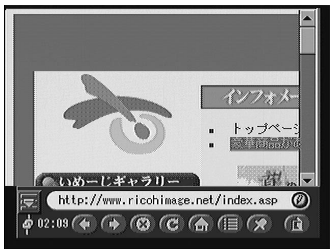
ドメイン名は組織名で、一般的にプロバイダー名になっています。
「WWW.」はない場合もあります。

リンクについて

ホームページ上のリンクが設定されている文字列や画像、ボタンをペンでタッチすると、リンク先のホームページに移動（ジャンプ）できます。



■ Web ブラウザを終了する



❶ ペンで [アイコン] を選び、ツールを表示します。

❷ ペンで [アイコン] を選びます。

回線の切断を確認するメッセージが表示されます。

❸［OK］を選びます。

データの読み込みが中止され、インターネットの接続が切断されます。このとき、[マーク] マークは液晶パネルから消えます。

Web ブラウザが終了し、通信メニューに戻ります。

ページを移動する

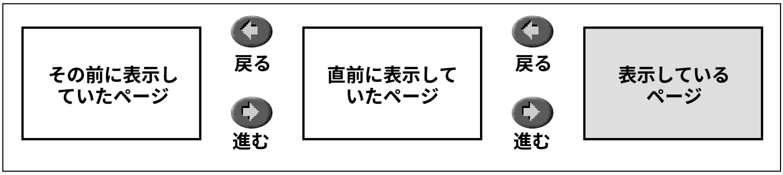
表示しているページの前に表示していたページや、その次のページなどは、アドレスを入力しなくてもページを移動することができます。

●直前に表示していたページに戻りたいとき

（戻る）を選びます。

●表示しているページの次のページに進みたいとき

（進む）を選びます。



●ホームに戻りたいとき

（ホーム）を選びます。ここでいうホームとは、インターネットに接続したときに一番はじめに表示されるホームページのことです。このホームページは、変更することができます。→P.50「Web環境を設定する」

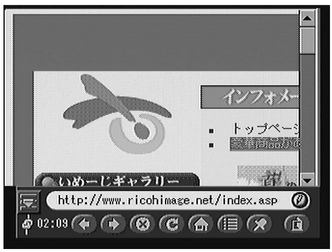
おきにいりのページを登録する

頻繁に見る、おきにいりのホームページは、Webブラウザに登録しておく（マークする）ことができます。次回からは、登録したタイトルを選ぶだけで、そのページを表示することができます。

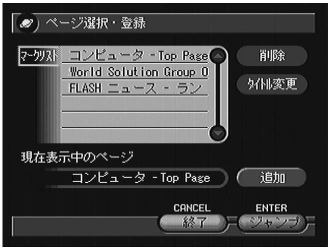
❶ 登録したいホームページを表示します。

❷ ペンで を選び、ツールを表示します。

❸ （マーク）を選びます。



❹ ページを登録します。



●ページを登録する

［マークリスト］に、表示中のホームページのタイトルを追加します。
［現在表示中のページ］のタイトルを確認した後、［追加］を選びます。手順❶～❹を繰り返すと、複数のタイトルを登録できます。

●登録したページを削除する

不要なページを削除します。
［マークリスト］から削除したいタイトルを選んだ後、［削除］を選びます。

補足
・タイトルデータのないページの場合は、アドレスが登録されます。
・［タイトル変更］を選ぶと、登録するページのタイトルを変更できます。

❺［終了］を選びます。

登録が完了し、Web ブラウザ画面に戻ります。

マークや履歴を使ってホームページを見る

（マーク）や（履歴）を使って、ホームページを表示します。

■マークを使う

登録したおきにいりのホームページをマークを使って表示します。

❶ ペンで を選び、ツールを表示します。

❷ （マーク）を選びます。

❸ マークリストから見たいホームページを選んだ後、［ジャンプ］を選びます。



Web ブラウザ 画面に戻り、指定したホームページが表示されます。

■履歴を使う

いままで表示したホームページは、履歴として保存されています。その履歴を使うことで、もう一度、見たいホームページを表示することができます。

❶ **ペンで を選び、ツールを表示します。**

❷ **（履歴）を選びます。**

❸ **履歴リストから見たいホームページを選んだ後、［ジャンプ］を選びます。**
Web ブラウザに戻り、指定したホームページが表示されます。

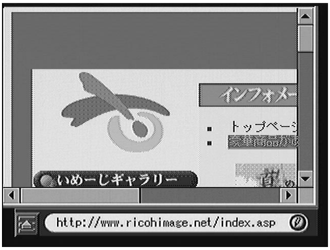


ホームページを記録する

表示しているホームページを静止画像として記録します。記録した画像は、再生モードに切り替えて確認することができます。

❶ **記録したいホームページを表示します。**

❷ **シャッターボタンを押します。**
表示されている画面全体が記録されます。このとき、ツールボタンなども一緒に記録されます。



補足
・画像は、液晶パネルに表示されているメディア（CF CARD・PC CARD・INのいずれか）の、記録先としてそのとき設定されているフォルダーに保存されます。
・記録した画像のファイル形式は、非圧縮の静止画ファイル（.TIF）です。

HTML ファイルをアップロードする

ここでは、HTML ファイルを作成して、ホームページにアップロード（送信）する機能について説明します。操作は次のような流れで行います。

HTMLテンプレートをパソコンからカメラに送る



付属のCD-ROMに入っているHTMLテンプレートをカメラに取り込みます。

参照 ・P.116「HTMLテンプレートをパソコンからカメラに送る」

HTMLファイルを作成/保存する

取り込んだHTMLテンプレートを使って、HTMLファイルを作成し、保存します。

参照 ・P.118「HTMLファイルを作成する」

HTMLファイルをアップロードする

作成したHTMLファイルをアップロードします。

参照 ・P.120「送信の設定をする」
・P.121「ファイルを送信する」

アップロードしたHTMLファイルを確認する

アップロードしたHTMLファイルを、カメラのWebブラウザを使って確認します。

参照 ・P.105「Webを見る」

HTMLテンプレートの確認をするときは

HTMLテンプレートをパソコンで見る



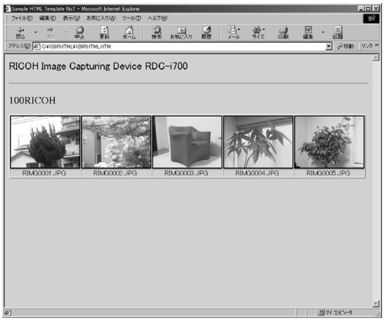
カメラのメディアに入っているHTMLテンプレートを、パソコンで確認したり削除したりします。

参照 ・P.121「HTMLテンプレートの一覧を表示する」
・P.123「HTMLテンプレートを確認する」
・P.124「HTMLテンプレートを削除する」

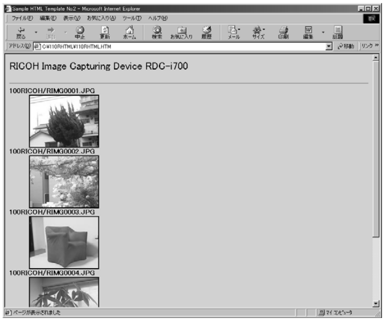
HTMLテンプレートについて

撮影した画像をホームページに掲載するには、HTMLファイルを作成します。このHTMLファイルを作成するときのベースになるのがHTMLテンプレートです。

本製品に付属のCD-ROMには、次のようなHTMLテンプレートが用意されています（実際には画像は入っていません）。これらのHTMLテンプレートをカメラに転送して、HTMLファイルを作成します。



Template1を使った例



Template2を使った例

コラム

新しいHTMLテンプレートを作る / 使う

CD-ROMに用意されているHTMLテンプレート以外に、全く新しいHTMLテンプレートを作ったり、すでにあるHTMLテンプレートを編集して利用することもできます。

この場合には、HTML（ホームページのレイアウトなどをするための言語）をある程度理解することが必要です。また、効率的にHTMLテンプレートを編集するためには、HTML編集用のアプリケーションソフトもあった方が良いでしょう。

付属のCD-ROMの「Readme」をご覧になり（［Templates］フォルダーの［html］フォルダーに入っています）、HTMLファイルの作り方や特殊なコマンドについて理解していただいた後、HTMLテンプレートを作成してください。その後、「HTMLテンプレートをパソコンからカメラに送る」（P.116）の手順にしたがって、作成したHTMLテンプレートをカメラに転送します。

HTML テンプレートをパソコンからカメラに送る

付属の CD-ROM に保存されている HTML テンプレートファイルを読み込み、カメラのメディアに転送します。

❶ カメラとパソコンが正しく接続されていること、カメラの電源が入っていること、カメラのモードダイヤルが［ ］になっていることを確認します。

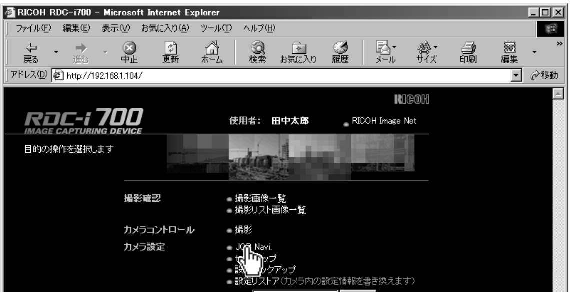
補足 ・HTMLテンプレートを利用するには、ご使用のパソコンの環境を整える必要があります。パソコンの詳しい操作手順については、パソコンとの連携編　第１章「準備する」をご覧ください。

❷ 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

❸ パソコン側でブラウザを起動してIPアドレスを入力し、カメラのトップページを表示させます。

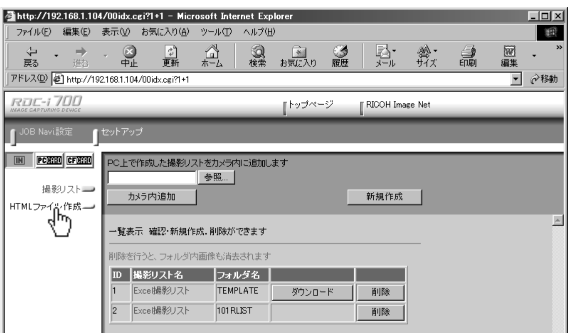
参照 ・パソコンとの連携編「ブラウザでカメラのページを開く」

❹［JOB Navi.］をクリックします。



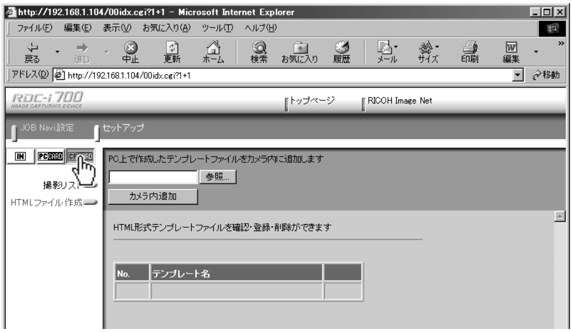
撮影リストの一覧が表示されます。

❺［HTML ファイル作成］をクリックします。



❻ HTML テンプレートの転送先メディアを選びます。

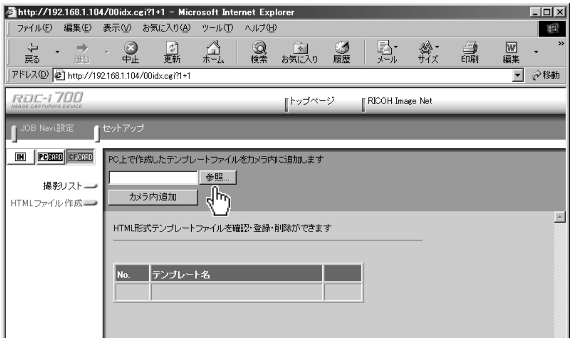
［IN］、［CFCARD］または［PCCARD］をクリックします。



重要

・HTMLテンプレートは、埋め込む画像と同じメディア内に登録されている必要があります。そのため、ここでは埋め込む画像が保存されているメディア（内蔵メモリーや CF カード、PC カード）を選びます。

❼［参照］をクリックします。



HTMLテンプレートのファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。

❽ 読み込みたいファイルのある場所を指定し、そのファイルを選択した後、［開く］をクリックします。

HTML テンプレートは、CD-ROM の［Templates］フォルダーの［html］フォルダーに入っています。

❾［カメラ内追加］をクリックします。



選択したHTMLテンプレートがカメラのメディアに転送されます。

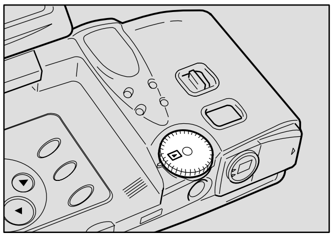
HTMLファイルを作成する

JOB Navi.機能の「HTMLファイル作成」は、CD-ROMから転送したHTMLテンプレートに、撮影したファイルを埋め込む機能です。ここで作成したHTMLファイルはホームページに直接アップロードすることができます。

重要

・HTMLテンプレートは、埋め込む画像と同じメディア内に登録されている必要があります。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせます。



❷ CARD/INキーで、HTMLテンプレートや埋め込む画像が登録、保存されている記録元（CF CARD・PC CARD・IN）を選びます。

❸［編集モード］を選びます。

●キー操作の場合

ENTERキーを押します。

❹ HTMLファイルに埋め込むファイルを表示し、チェックボックス を にします。



複数のファイルを選択するときは、ファイルを切り替え、この手順を繰り返します。

●サムネイル表示のとき

ファイルのチェックボックス を にします。複数のファイルを選択できます。

補足 ・ をチェックしていない場合、1枚表示のときは現在表示しているファイルが、サムネイル表示のときは選択ファイルが対象になります。

❺ J キーを押します。

❻［HTML ファイル作成］を選びます。



❼ 埋め込み先のHTMLテンプレートを選んだ後、［OK］を選びます。



❽ HTMLファイルに埋め込むファイルを確認し、［OK］を選びます。



HTML テンプレートに選択したファイルが埋め込まれ、HTML ファイルが作成されます。

送信の設定をする

アップロードするHTMLファイルやアップロード先を設定します。

❶ 通信設定が行われていること、カメラに通信機器が正しく接続されていることを確認します。

参照 ・P.19「通信の設定をする」P.55「通信機器を接続する」

❷ モードダイヤルを［✉］に合わせます。
通信メニューが表示されます。

❸［FTPアップロード］を選びます。



❹［ダイヤル一覧］を選び、ダイヤルアップ接続先を選びます。

参照 ・P.45「ダイヤルアップ接続先を選択する」

❺ CARD/IN キーで、HTMLファイルが保存されている記録元（CF CARD・PC CARD・IN）を選びます。
［場所］に指定した記録元が表示されます。



❻［FTPファイル］の ▼ を選び、アップロードするファイルを選びます。
選択できるファイルは1ファイルです。

補足 ・HTMLファイルを作成すると、[100RHTML]、[101RHTML]といったように[数字RHTML]というファイルが作成されます。この数字の一番大きなものが最新のファイルです。

ファイルを送信する

接続時の条件を確認し、ファイルを送信します。

❶［送信］を選びます。



接続が開始され、HTML ファイルと埋め込まれたファイルがアップロードされます。

アップロードが終了すると、接続は自動的に切断され、通信メニューに戻ります。

補足 ・アップロードが正常に終了すると、新規のメールが作成され、ドラフトに保存されます。メールには、アップロード先のURL（ファイルの所在を示すアドレス）が記録されます。このメールを確認するときは、「作成途中のメールを送信する（ドラフト）」→ P.97 をご覧ください。

タイトル	Ftp Upload xxx.HTM
本文	（アップロード先の URL が入ります）

・アップロードされたHTMLファイルは、カメラのWebブラウザやパソコンのブラウザを使って確認することができます。→ P.105「Web を見る」

HTML テンプレートをパソコンで見る

HTMLテンプレートの一覧を、パソコンで確認したり、削除したりする方法を説明します。

■ HTML テンプレートの一覧を表示する

ここでは、カメラのIN（内蔵メモリー）に入っている HTML テンプレートの一覧を表示します。

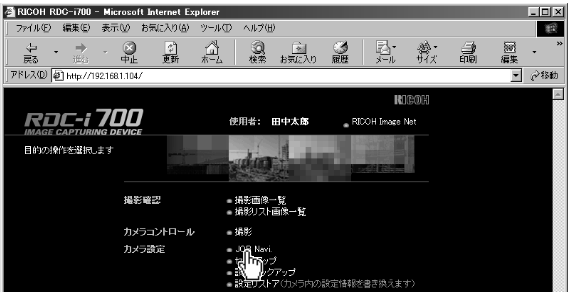
❶ カメラとパソコンが正しく接続されていること、カメラの電源が入っていること、カメラのモードダイヤルが［ ］になっていることを確認します。

参照 ・パソコンとの連携編　第１章「準備する」

❷ パソコン側でブラウザを起動してIPアドレスを入力し、カメラのトップページを表示させます。

参照 ・パソコンとの連携編「ブラウザでカメラのページを開く」

❸［JOB Navi.］をクリックします。



撮影リストの一覧が表示されます。

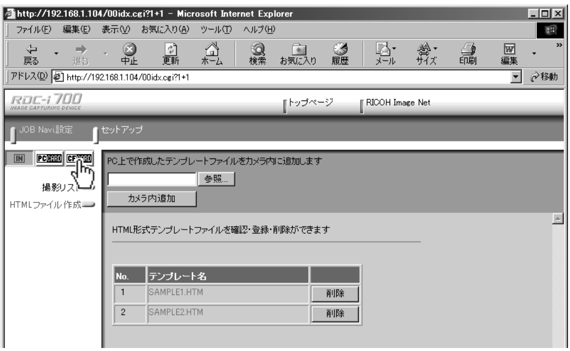
❹［HTML ファイル作成］をクリックします。



内蔵メモリーに記録されている HTML テンプレートの一覧が表示されます。

❺ CF カードや PC カードの HTML テンプレートを見たい場合には、［CFCARD］または［PCCARD］をクリックします。

選択したメディアの、HTML テンプレートの一覧が表示されます。



この画面から進むことのできる機能については、次の項から説明していきます。

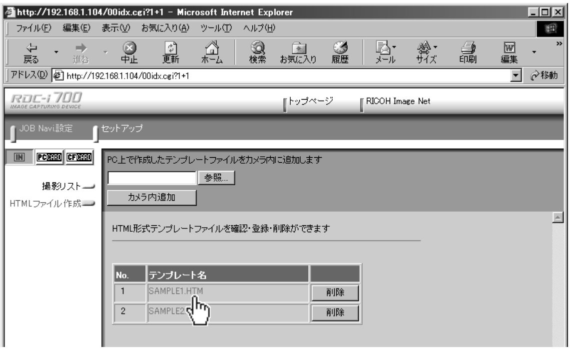
■ HTML テンプレートを確認する

メディアに入っている HTML テンプレートを確認します。

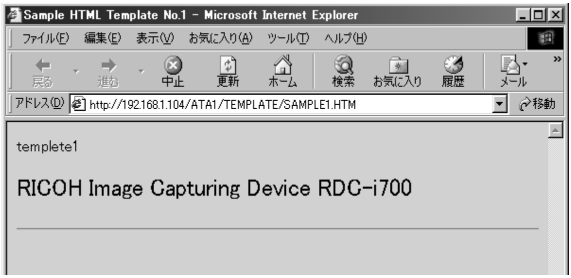
❶ 確認したい HTML テンプレートの含まれている HTML テンプレート一覧を表示させます。

参照 ・P.121「HTML テンプレートの一覧を表示する」

❷ 確認したい HTML テンプレート名をクリックします。



これで、HTML テンプレートの内容が表示されます。



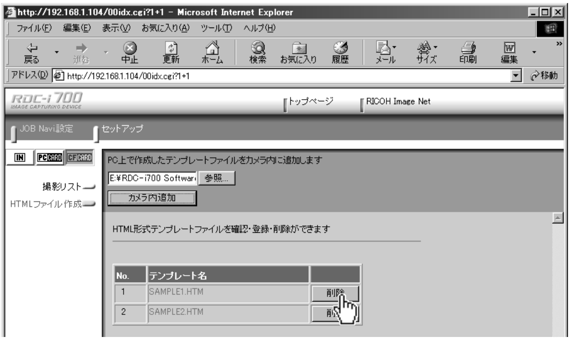
■ HTML テンプレートを削除する

メディアに入っている HTML テンプレートを削除します。

❶ 削除したい HTML テンプレートの含まれている HTML テンプレート一覧を表示させます。

参照 ・P.121「HTML テンプレートの一覧を表示する」

❷ 削除したい HTML テンプレートの［削除］をクリックします。



確認の画面が表示されたら、［OK］をクリックします。
これで、HTML テンプレートの削除が実行されます。